令和４年度

事業報告書

自　令和４年４月１日
至　令和５年３月31日

公益財団法人　マルホ・高木皮膚科学振興財団

1. 事業報告書

当財団は、「創造的な研究の奨励等に関する事業を行い、皮膚科学の発展と国民の健康福祉の増進に寄与する」ことを目的に平成 28 年 2 月 3 日に設立され、皮膚科学に関する分野の研究を行う個人や団体に助成を行うことで、この分野の治療、研究の振興を図り、もって我が国の健康の促進と医療の発展に貢献したいと考える。

平成 29 年度からは、定款第 4 条（事業）第 1 項に掲げる「皮膚科学に関する研究に対する助成」事業を毎年度実施している。

(1) 公益事業の実施

1)皮膚科学に関する研究に対する助成事業の実施

①第 6 回高木賞

「皮膚科学の発展に資する研究を行う個人や団体に対して、助成金の支給」という形で支援する事業を実施し、令和 4 年 4 月に以下の 6 名の受賞者に対し、助成金を交付した（所属・役職は申込時)。

高木賞 500 万円（2 名　五十音順）

- 大分大学　助教　酒井貴史（さかい　たかし）40 歳
  「アトピー性皮膚炎患者に生じる炎症と骨異常の予防戦略開発：RANKL を標的として」

- 聖マリアンナ医科大学　准教授　宮垣朝光（みやがき　ともみつ）42 歳
  「皮膚 T 細胞リンパ腫の新規治療標的となる表面分子の探索」

高木賞 250 万円（4 名　五十音順）

- 北海道大学病院　講師　岩田浩明（いわた　ひろあき）47 歳
  「ヘイリーヘイリー病の病態解明とハプロ不全に着目した新規治療開発」

- 札幌医科大学　講師　肥田時征（ひだ　ときまさ）46 歳
  「カスタムシーケンスパネルとリキッドバイオプシーによる日本人メラノーマの個別化医療」

- 医療法人けいしん会理事長　三上万理子（みかみ　まりこ）49 歳
  「USA300 clone　皮膚感染症の迅速診断システムの開発」

- 東京女子医科大学　准教授　山上　淳（やまがみ　じゅん）47 歳
  「単一細胞解析と連動した天疱瘡の自己抗体産生機序の解明」

令和 4 年 4 月 16 日に東京・品川　ザ・プリンスさくらタワーにて贈呈式を実施した。

②第 7 回高木賞

令和 4 年 8 月に医育機関名簿に基づき全国医育機関 177 か所の皮膚科教授/部長宛に高木賞募集要項を送付し、同年 10 月 1 日から 11 月 30 日までの間に高木賞として合計 17 件、高木賞臨床研究奨励賞として 9 件の応募を受けた。

応募を受けた案件は、6 名の選考委員により「研究の科学的新規性」、「研究の臨床医学へのインパクト」、「研究方法およびその計画の妥当性（倫理性を含む)」、「皮膚科臨床に対する

直結度」を勘案して5段階評価により審査された。これらの結果については令和5年2月2日の選考委員会での審議を経て、同年3月3日の理事会にて第7回高木賞受賞者6名、高木賞臨床研究奨励賞受賞者 5 名を決定した。同年 4 月以降に、各大学の指定の方法に従い助成金を交付する。

第7回高木賞/高木賞臨床研究奨励賞の受賞者は以下の通りである
（所属・役職及び年齢は申込時）。

高木賞　500 万円　（2 名　五十音順）

- 新潟大学大学院医歯学総合研究科　講師　濱　菜摘（はま　なつみ）44 歳
  「新規重症度予測スコア CRISTEN に基づく Stevens-Johnson 症候群および中毒性表皮壊死症の重症度予測バイオマーカーの探索」
- 北海道大学病院　講師　柳　輝希（やなぎ　てるき）44 歳
  「乳房外 Paget 病における薬剤耐性機構の解明と新規治療法開発」

高木賞　250 万円　（4 名　五十音順）

- 京都大学大学院医学研究科皮膚科　講師　江川形平（えがわ　ぎょうへい）45 歳
  「T 細胞を抗原特異的に皮膚へ遊走させるメカニズムの解明」
- 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科　教授　沖山奈緒子（おきやま　なおこ）48 歳
  「皮膚筋炎特異的自己抗体別サブグループごとの治療標的探索」
- 東京大学医学系研究科・医学部皮膚科　准教授　柴田　彩（しばた　さやか）44 歳
  「高脂肪食摂取による皮膚免疫細胞の形質変容ならびに乾癬における新しい予防戦略の開発」
- 慶應義塾大学医学部皮膚科　専任講師　中村善雄（なかむら　よしお）40 歳
  「アンドロゲン受容体陽性乳房外パジェット病オルガノイドを用いた腫瘍増殖に関わるアンドロゲンシグナル伝達経路の生物学的解析」

高木賞臨床研究奨励賞　50 万円（5 名　五十音順）

- 浜松医科大学　皮膚科学講座　影山　玲子（かげやま　れいこ）37 歳
  「免疫組織学的解析を通した特発性後天性全身性無汗症の病型分類の試みと新規病態機序の解明」
- 昭和大学　名誉教授　末木博彦（すえき　ひろひこ）67 歳
  「外耳道皮膚炎に関する皮膚科・耳鼻咽喉科による共同疫学研究」
- 名古屋大学大学院医学系研究科皮膚科学分野　助教　棚橋華奈（たなはし　かな）41 歳
  「LIPH 遺伝子変異による常染色体劣性縮毛症・乏毛症の臨床像と病態の解明」
- さいたま市民医療センター　皮膚科　科長　宮田聡子（みやた　としこ）55 歳
  「糖尿病足病変はいかにして形成されるのか －フットプリントを用いた足の形態学的変化の疫学調査－」
- 関西医科大学　皮膚科学講座　准教授　山崎文和（やまざき　ふみかず）50 歳

「冠動脈心臓 CT（CCTA)を施行した 88 名の乾癬患者における最大 6 年間の追跡調査による死亡症例と生存症例における背景因子・サイトケインプロファイルの検討」

令和 5 年 4 月 15 日に東京・品川のザ・プリンスさくらタワー東京にて第 7 回高木賞の贈呈式を実施する。

③第 4 回高木賞　受賞者からの報告

第 4 回高木賞の助成期間が令和 4 年 12 月末日に満了したため、助成者に対して助成期間満了のお知らせと、結果報告書、収支報告書提出のお願いを送付し、第 4 回高木賞受賞者から収支報告書、研究結果報告書を入手している。以後、研究結果報告書の小冊子を作製する予定である。

2)広報活動の実施

第 3 回高木賞の研究成果をまとめ、研究結果報告書集として冊子化した。これらを高木賞募集要項とともに医育機関名簿に基づき全国医育機関 177 か所の皮膚科教授/部長宛に送付した。この第 3 回高木賞にかかる研究結果報告書は、その 1 部ずつを国立国会図書館、日本科学技術振興機構及び医学中央雑誌刊行会に納本した。

また、日本皮膚科学会誌 132 巻第 10 号及び日本臨床皮膚科医会雑誌に第 7 回高木賞の募集要項と第 6 回高木賞受賞者名を掲載、皮膚科関連学会でのポスター掲示・募集要項配布を通じ、日本国内の皮膚科医に対してマルホ・高木皮膚科学振興財団と高木賞について広報活動を実施した。

令和 5 年 3 月 7 日には、同年 3 月 3 日に開催された理事会で決定した第 7 回高木賞受賞者を財団ホームページに掲載した。

国内の臨床現場の皮膚科医に対する当財団、高木賞の認知度は未だ低いと思われる。そのため、臨床現場への財団の認知度を上げるために、日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会のポスター賞に財団から副賞として盾と賞金を贈呈して財団を広告することを計画し、令和 4 年 7 月に日本臨床皮膚科医会事務局と打合せを行った。また、本件の学術大会のホームページへの掲載をお願いし、広報活動の一助とした。

第 7 回高木賞へは、ポスター賞受賞者のうち 1 名から高木賞へ、2 名から臨床研究奨励賞への応募があり、ポスター賞協賛の効果が認められたものと考えられる。

引き続き令和 5 年 6 月 17、18 日の日本臨床皮膚科医会総会にて決定されるポスター賞受賞者に対し後日、副賞贈呈を行うとともに学会誌や学会ホームページでの公開を依頼する予定である。

(2) 理事、評議員

令和 5 年 3 月 31 日現在の理事・評議員数

理　事　　12 名

評議員　　 6 名

2. 事業報告附属明細書

(1) 理事会・評議員会・選考委員会開催状況

1)理事会

①令和 4 年度　第 1 回定例理事会　令和 4 年 5 月 20 日　WEB 併用により実施した。

議題	内容
＜決議事項＞	
1)令和 3 年度事業報告・財務諸表	令和 3 年度の事業報告・財務諸表が承認された。
2)第 7 回高木賞選考委員の選任について	第 7 回選考委員の選任につき承認された。
3)助成金交付規程、助成金交付選考内規の改定について	助成金交付規程、助成金交付選考内規の改定について承認された。
4) 第 7 回高木賞　募集要項について	第 7 回高木賞の募集要項につき承認された。
5)令和 4 年度　定時評議員会招集	定時評議員会招集につき承認された。
＜事前検討＞	
新事業「皮膚科学講座への奨学寄附事業の立上げ」	「皮膚科学講座への奨学寄附事業の立上げ」について事前検討された。
＜報告事項＞	
1)職務執行状況の報告	理事長、常務理事の職務執行状況につき報告された

②令和 4 年度　臨時理事会　令和 4 年 10 月 7 日　WEB 併用により実施した。

議題	内容
＜審議事項＞	
1)新事業「皮膚科学講座への奨学寄付事業」の立上げ	「皮膚科学講座への奨学寄付事業」の立上げについて承認された。
＜報告事項＞	
1)職務執行状況の報告	理事長、常務理事の職務執行状況につき報告された。

③令和 4 年度　臨時理事会　令和 4 年 12 月 19 日　決議の省略の方法により実施した。

議題	内容
＜決議事項＞	
1)保有株式議決権行使	マルホ株式会社の株主総会議決権行使について承認された。

④令和 4 年度　臨時理事会　令和 5 年 1 月 20 日　決議の省略の方法により実施した。

＜決議事項＞	
1)寄附受入れの件	リニカル社株式の寄附受入れについて承認された。

⑤令和 4 年度　第 2 回定例理事会　令和 5 年 3 月 3 日　WEB 併用により実施した

議題	内容
＜決議事項＞	
1)第 7 回高木賞受賞者の決定	第 7 回高木賞の受賞者について承認された。
2)第 8 回高木賞選考委員の選任	第 8 回高木賞の選考委員選任について承認された。
3)助成金交付規程、選考内規の改定	助成金交付規程、選考内規の改定について承認された。
4)令和 5 年度事業計画、収支予算書等について	令和 5 年度の事業計画、収支予算書等について承認された。

＜報告事項＞	
1)職務執行状況の報告	理事長、常務理事の職務執行状況が報告された。

2)評議員会

①令和 4 年度定時評議員会　令和 4 年 6 月 10 日　WEB 併用により実施した。

議題	内容
＜決議事項＞	
1)令和 3 年度事業報告・財務諸表	令和 3 年度の事業報告･財務諸表について承認された。
＜報告事項＞	
1)第 6 回高木賞贈呈式の実施について	第 6 回贈呈式の実施について報告された
2)第 7 回高木賞募集要項について	第 7 回高木賞募集要項について報告された。
3)その他の報告事項	その他の報告事項につき報告された。

3)選考委員会

令和 5 年 2 月 2 日　東京・品川　マルホ株式会社東京開発事務所にて実施した。

17 件の高木賞応募案件、9 件の高木賞臨床研究奨励賞応募案件について、各選考委員の評価（令和 4 年 12 月～令和 5 年 1 月実施）の集計表に基づき選考を行い、6 件の高木賞候補者、5 件の臨床研究奨励賞候補者を選択した。

(2) 役員名簿

【理事：12 名・監事 2 名】

【任期（理事）：令和 3 年 6 月 14 日から令和 5 事業年度に係る定時評議員会の終結の時まで】

【任期（監事）：令和元年 6 月 14 日から令和 5 事業年度に係る定時評議員会の終結の時まで】

役職名	氏　名	備　　　考
理事長	高木　幸一	創業家、マルホ株式会社　代表取締役会長
常務理事	愛宕　栄彦	マルホ株式会社　特任参与
理　事	川島　　眞	東京女子医科大学名誉教授
理　事	川島　義治	公益財団法人宮川庚子記念研究財団　理事
理　事	黒澤　和平	元 藍野大学　医療保健学部長 公益財団法人興和育英会　評議員
理　事	今野　清隆	元 日本新薬株式会社　執行役員
理　事	昌子久仁子	神奈川県立保健福祉大学　教授
理　事	冨田　圭子	近畿大学農学部　准教授
理　事	原　　拓志	関西大学商学部　教授、神戸大学名誉教授
理　事	前田　誠二	元 マルホ株式会社　取締役
理　事	村松　音和	創業家
理　事	安村　　満	元 アステラス製薬株式会社
監　事	鈴木　祥克	太陽グラントソントン税理士法人　パートナー
監　事	濵岡　峰也	清和法律事務所　弁護士

(3) 評議員名簿

【評議員：6名】

【任期：令和元年6月14日から令和5事業年度に係る定時評議員会の終結の時まで】

【*任期：令和3年6月11日から令和7年事業年度に係る定時評議員会の終結の時まで】

役職名	氏　名	備　　　　考
評議員	上島　悦子	大阪大学名誉教授
評議員	小野　昭雄	小野PB企画　代表
評議員	平野　光俊	大手前大学　学長、神戸大学名誉教授
評議員	藤村　昭夫	自治医科大学名誉教授
評議員	宮井　　宏	元 パナソニック株式会社
評議員	安井　　清*	元 マルホ株式会社　執行役員

評議員　冨田美子は令和4年6月10日の評議員会終結時に退任した。

(4) 選考委員名簿

【選考委員： 6名】

【任期：令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）】

選考委員名　　非開示